

樹木コース

距離／約3km 所要時間／約1時間30分

もとは下町の八町のうち東町、本町、南町が宝暦7年(1757年)洪水により樹木へ移転した。その後洪水のたびに数戸が移転を続け城下町の町並みが整った。



① 旧南町(樹木5丁目)



② 旧本町(上挙母1丁目)



3 旧東町(上举母1丁目)



町蔵

● 挙母祭りの県有形文化財の山車を各町が納めている。

- 1) 旧南町 大正12年(1923年)現在の場所に移転した。
- 2) 旧本町 長い風雪に耐え、平成13年に復元した。
- 3) 旧東町 昭和60年(1985年)現在の場所に新築移転した。

④ 御殿坂(常盤町1丁目)

明和元年(1764年)4月杵母城(杵城)の建設途中に度重なる矢作川の洪水に悩まされた。藩主内藤政苗により樹木御殿が建てられた。この御殿への坂道を御殿坂という。



⑥ まちかど展示館(常盤町2丁目)

以前は拳母神社の山車を納めていた旧東町の町蔵として使われていた。しかし、蔵前の道路の交通量が多くなり、山車の組み立てが困難になったため③旧東町へ移転した。



⑧水音寺(上挙母1丁目)

安永8年(1779年) 挙母城移転とともに現在の場所に移った。地域の発展を願い農産物の豊作を占う“おためし”の行事が5月8/9日の二日間行われる。



10 産物会所跡(常盤町2丁目)

天明2年(1782年)現在の位置に建てられた。ここで産物が集められ、物資が流通し賑わった。



5 崇化館跡(挙母藩藩校)

崇化館跡は最初殿様の御殿であった。その後天明7年(1787年)伊藤東所により文武の藩校「崇化館」を設立。優秀な人材を送り出した。



7 拳母藩米倉門(常盤町2丁目)

明治4年(1871年)11月
 挙母城とその周辺の
 建物が撤去された。
 のちに、そのうちの
 一つが現在の場所
 に移築された。



⑨ 格子造りの家並み通り(常盤町2丁目)

大手筋には東之町・中之町・西之町・の三本の道がある。
この道は矢や弾丸から身を守るため曲がりなしている。
道沿いには城下町にふさわしい格子造りの家が多数残っている。



11 樹木神社(樹木町4丁目)

この神社は旧本町津島神社の社地に建てられた。大正4年(1915年)に旧南町八幡社、旧東町白山社、旧本町鴻巣稻荷社と一緒に祀られ、樹木神社となった。



歴史の香る

散歩みち

朝日丘地域 樹木コース



WE LOVE とよた

ハイバッドシティ
環境モデル都市 とよた

朝日丘まちづくり委員会

朝日丘地域全体図

挙母城 (七州城)

最初の城は衣金谷城で延慶3年(1310年)足利尊氏の家臣中条景長が衣城を築く。のち慶長9年(1604年)三宅康貞が陣屋(桜城)を構え、一時天領となるが、天和1年(1681年)本多忠利が陣屋を継ぎ「挙母」に改名。寛延2年(1749年)内藤政苗が陣屋に広大な城を築城するが、矢作川の洪水で断念。天明2年(1782年)童子山へ移転し、同5年に本丸城郭整うが、外郭は未完成のまま明治4年(1871年)挙母城廃城となり、公売される。



凡	例
三軒屋コース	歴史の香る散策コース (三軒屋・小坂コース)
小坂コース	歴史の香る散策コース (樹木・金谷コース)
樹木コース	枝下緑道コース (下市場・長興寺・下林コース)
金谷コース	
下林コース	
下市場コース	
長興寺コース	
	陽だまり

① 陽だまり散歩みち (各自治区コース)

地域の方々が無理なく歩ける身近な散歩道とし、近隣住民が気軽に集い、おしゃべりができるたまり場(陽だまり)をコース途中に設けます。公園や神社など、トイレや休憩施設があるところを陽だまりとしますが、陽だまりによっては、新たにベンチや東屋などを設置します。

② 歴史の香る散策コース

地域の中でも、多くの歴史的・文化的な地域資源がある金谷～樹木地区、小坂～三軒屋地区を巡るコース。樹木の古い町並み、挙母城(七州城)、毘森公園などの見所があります。「三軒屋・小坂コース」と「樹木・金谷コース」の2コースです。

③ 枝下緑道コース

枝下緑道を経由して下市場～長興寺～下林を巡るコースです。桜並木や水辺などの自然、長興寺をはじめとする寺などの見所があります。

